

ひらかれた美術館をいかにつくるか

鳥取県立美術館館長 尾崎信一郎

2025.7.2

文部科学省講堂

1. 県立博物館から県立美術館へ

2. PFI 事業の導入

導入可能性調査

設計、建築と運営をともに PFI 事業として実施

要求水準書

重点対話

3. ブランドワードとしての「OPENNESS！」

OPENNESS ひらかれていること

設計、運営のいずれに対してもキーワード

4. 新設される美術館への関心を途切れさせないために

定期的に記念講演会、シンポジウムを開催

広報誌「Pass me」

美術館に関する講演会の実施

ブリコ騒動

ロゴ・シンボルマーク募集

地元と大都市圏におけるメディア懇談会の定期開催

カフェ、ショップ、貸館利用の募集

5. 竣工後の活動

TMOA+（ティーモア・プラス＝ボランティア）の募集、ファシリテーターの養成

ミュージアム・スタート・バス事業の準備

アート・ラーニング・ラボの準備

6. 開館後の美術館

開館記念展「アート・オブ・ザ・リアル」

ミュージアム・スタート・バスの実施

フリースペースでの多様なワークショップ